

受賞者喜びの声

愛媛新聞賞と愛媛新聞スポーツ賞が5日、8個人に贈られた。社会、経済、文化、スポーツの各分野で尽力し、愛媛の発展に貢献した受賞者に喜びの声や今後の抱負を聞いた。

愛媛新聞賞

思い入れ強い場所
遠藤弥重太さん(愛媛大)

特別(栄誉教授) 妻の実家がある愛媛に来て30年弱になるが、今日の式典に出席し、



愛媛新聞賞・愛媛新聞スポーツ賞の受賞者—5日午前、松山市のホテル(撮影・長尾翼)

改めて多くの愛媛の方に協力いただいたことを思い返した。今は古里の徳島より思い入れの強い場所となっ

(1面参照)

愛媛新聞スポーツ賞

五輪へ集中的調整

小松正治選手(県競技方
向上対策本部、カヌー)や
ってきたことを評価しても
らううれしい。8月のアジ
ア選手権で東京五輪の出場
権を得ることが、今年一番
の目標。5日から沖繩県で
合宿を開始した。選手とし
ていい時期を迎える五輪な
ので集中して調整したい。

五輪での活躍目標

多田羅英花選手(県競技
力向上対策本部、カヌー)
愛媛県に所属し6年目を迎
えるが、初めての受賞で光
栄。結果が出ない時期にも
声援を送り続けてくれた県

ている。栄えある賞もいた
だき感謝無量だ。

対コロナ一致団結

佐伯要さん(伊予鉄グル
ーP相談役) 個人の力では
なく、皆さんのおかげで歴
史ある賞をいただいた。感
謝している。新型コロナウ
イルスの感染拡大で日本や
愛媛の経済がどうなるか心
配している。経済界が一致
団結し、対処していかなけ

民に恩返ししたかった。今
年は五輪での活躍が目標。
愛媛に来てさらに頑張ろう
という気持ちが増えた。

春から新ステージ

八木孔輝選手(男子ソフ
トボールU18日本代表、松
山工業高) コロナ禍の中で
自分が残した結果が表彰さ
れて励みになるし、うれし
い。春から新しいステージ
で競技を続けるが、愛媛で
このような賞を頂けたこと
を忘れずに頑張っていきた
い。

継続してトップを

山中柚乃選手(愛媛銀行
女子陸上部) 大きな賞をも